

基本調査票

本調査票は、貴事業所の基本的な概要について記載していただくものです。

本調査票の記入日： 令和元 年 12 月 19 日

設置・運営主体	戸田市		
設置主体	戸田市		
経営主体	戸田市		
事業所名 (施設名)	戸田市立笹目東保育園	種別	保育所
所在地	〒 335-0034 埼玉県戸田市笹目東1-37-14		
電話	048-421-5011		
FAX	048-422-1524		
Email	aburava.kikuko@city.toda.saitama.jp		
URL			
施設長氏名	油屋希久子		
調査対応担当者	油屋希久子 (所属、職名： 笹目東保育園 園長)		
利用定員	100名	開設年	昭和 48 年 5 月 1 日
理念・基本方針	<p><保育理念> 私達は、子ども達が安全で安心して過ごすことができる環境を整え、心身共に健康な子どもを育てる。</p> <p><基本方針> ◎家庭と連携を取りながら、丈夫な体と元気に遊べる子どもに育てる。 ◎思いやりがあり、友達などを大切にし、やさしく心豊かな子どもに育てる。 ◎個性を大切にし、自分を表現できる子どもに育てる。 ◎最後までやり遂げる力を持つ子どもに育てる。 ◎地域の子育て支援の拠点となる保育園づくりをする。</p>		
開所時間 (通所施設のみ)	午前7時～午後7時 (月～金) 午前7時30分～午後6時30分 (土)		

【利用者の状況に関する事項】

○保育所の場合（通常保育）

	定員	利用児童数	クラス数	1クラスあたり 平均児童数	1クラスあたり 平均保育士数
0歳児	—	—	—		
1歳児	12	12	1		
2歳児	18	18	1		
3歳児	22	22	1		
4歳児	24	18	1		
5歳児	24	17	1		
計	100	87	5	—	—

（注）1クラスあたり平均児童数は2クラス以上ある場合に記載。非常勤保育士等については常勤換算で計算。異年齢児クラスはその区分ごとに記載。

○障害等の状況（保育所を除く）

・身体障害（障害者手帳を所持している利用者についてご記入ください。）

障害区分	1級	2級	3級	4級	5級	6級	7級
視覚障害	名	名	名	名	名	名	名
聴覚又は平衡機能の障害	名	名	名	名	名	名	名
音声・言語、そしゃく機能の障害	名	名	名	名	名	名	名
肢体不自由	名	名	名	名	名	名	名
内部障害（心臓・腎臓、ぼうこう他）	名	名	名	名	名	名	名
重複障害（別掲）	名	名	名	名	名	名	名
合計	名	名	名	名	名	名	名

※区分が異なる複数障害で等級の認定がなされている場合は「重複障害」に記入ください。

・知的障害（療育手帳を所持している利用者についてご記入ください。）

A ※	B	C
名	名	名

※「A」には丸付きのAを含む。

・精神障害（精神障害者保健福祉手帳を所持している利用者についてご記入ください。）

精神疾患の区分	1級	2級	3級
統合失調症	名	名	名
そううつ病	名	名	名
非定型精神病	名	名	名
てんかん	名	名	名
中毒精神病	名	名	名
器質精神病	名	名	名
その他の精神疾患	名	名	名
合計	名	名	名

○要介護区分の状況（介護保険対象サービス事業所のみご記入ください。）

自立・要支援	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5
名	名	名	名	名	名

○サービス利用期間の状況（保育所を除く）

～6か月未満	6か月～1年	1年～2年	2年～3年	3年～4年	4年～5年
名	名	名	名	名	名
5年～6年	6年～7年	7年～8年	8年～9年	9年～10年	10年～11年
名	名	名	名	名	名
11年～12年	12年～13年	13年～14年	14年～15年	15年～16年	16年～17年
名	名	名	名	名	名
17年～18年	18年～19年	19年～20年	20年以上		
名	名	名	名		

（平均利用期間： ）

【職員の状況に関する事項】

○保育所の場合

常勤職員数		16 人	
うち	保育士	15 人	保健師・看護師 0 人
	栄養士・調理員	委託 4 人	その他（ 保育補助 ） 1 人
非常勤職員数		6 人	（常勤換算 0.74 人）
うち	保育士	2 人	（常勤換算 0.57 人）
	保健師・看護師	人	（常勤換算 人）
	栄養士・調理員	人	（常勤換算 人）
	その他（ 無資格パート職員/事務 パート/用務員）	2, 1, 1 人	（常勤換算 人）
<p>（注）常勤換算計算式 非常勤職員：それぞれの週あたりの勤務延時間数の総数÷当該保育所の常勤職員が勤務すべき時間数。栄養士・調理員：調理業務を委託している場合には「委託」と記載。</p>			
（2）前年度採用・退職の状況	採用	常勤： 0 人	非常勤： 0 人
	退職	常勤： 1 人	非常勤： 0 人
（3）常勤職員（うち保育士・保健師・看護師）の平均年齢		39.9 歳	（ 39.9 歳）
（4）常勤職員（うち保育士・保健師・看護師）の平均在職年数		13.5 年	（ 13.5 年）
<p>（注）現在の保育所での在職年数。ただし、同一の運営主体（法人・自治体）内の児童福祉施設間の異動は通算可（公営の場合には保育主管課在職期間も通算可）。小数点以下第二位を四捨五入。</p>			

【本来事業に併設して行っている事業】

(保育所の場合)

事業名	実施の有無	利用料
乳児保育		
延長保育	有	2,500円/月、250円/回
休日保育		
障害児保育	有	
一時保育		
地域子育て支援センター		
乳幼児健康支援一時預かり事業(病後児保育)		
アレルギー等対応給食	有	
その他(事業名:)		

(注) 実施事業には有無欄に○を付し、利用料を記載する。自主事業も含む。

【ボランティア等の受け入れに関する事項】

・平成 31 年度におけるボランティアの受け入れ数(延べ人数)

23 人

・ボランティアの業務

保育業務補助 おはなし会 市内中学生体験学習

【実習生の受け入れ】

・平成 31 年度における実習生の受け入れ数(実数)

社会福祉士 人

介護福祉士 人

その他 6 人

【施設の状況に関する事項】

※耐火・耐震構造は新耐震設計基準（昭和56年）に基づいて記入。

○保育所の場合

(1) 建物面積 (保育所分)	327 m ²
	児童1人あたり 3.27 m ² (計算式: 建物延べ床面積合計÷定員)
(2) 園庭面積	802.79 m ²
	児童1人あたり 802 m ² (計算式: 園庭面積合計÷定員)
(3) 耐火・耐震構造	耐火 <input checked="" type="checkbox"/> 1. はい <input type="checkbox"/> 2. いいえ
	耐震 <input checked="" type="checkbox"/> 1. はい <input type="checkbox"/> 2. いいえ
(4) 建築(含大改築)年	平成 48年

【サービス利用者からの意見等の聴取について】

貴施設(事業所)において、提供しているサービスに対する利用者からの意見を聞くためにどのような取り組みをされていますか。具体的にご記入ください。

・日々の送迎時の会話、連絡ノートでのやりとり、個人面談、懇談会、保育参加後のカンファレンス、ご意見箱、保護者会役員会・保護者会連絡協議会等から丁寧に保護者の思いをくみ取る場となるようにしている。そのためにも、日頃から細やかにコミュニケーションをとるよう心掛け、些細なことでも話してもらいやすい関係性を気付けるようにしている。また、いただいたご意見や思いについては、会議等で職員間に周知し、回答する機会を設けたり、質問等にも保護者の思いに寄り添いながら、丁寧に答えている。
・地域の方については、地域交流の場を通して直接話を伺うとともに、アンケートの実施をしている。

【その他特記事項】

貴施設(事業所)の特徴的な取り組み等について具体的にご記入ください。

・保護者への子育て支援を大切に考え、配慮・見守りが必要な家庭や日々の子育ての支援に繋がるよう日頃からのコミュニケーションを丁寧に行い、乳児幼児ともに送迎時の会話だけにとどまらず、連絡ノートを介してのやり取りも大切にしている。また、子育ての悩みや喜びに共感できるよう、保育内容や保育のねらいのポイント等についても、連絡ノートや日報、園だより、乳幼児組だより、各クラスだより、写真を使つての保育ボード等、発信力を高められるようにしている。このような取り組みを園全体で推進していくことができるよう、会議等で職員間の周知を図っている。
・運動遊びの取り組みを各年齢で継続的に取り組んでいる。運動あそびを通して、怪我をしにくい体作り、体を動かすことを楽しいと感じること、また、活動内容を工夫していくことで、子ども達の意欲や達成感、友達との共感性を高められるようにしている。運動あそびの取り組みを学ぶために、この取り組みを行っている民間園と連携を取り、2年前から毎年数名ずつ活動の見学とカンファレンスの参加を依頼し、今度在籍している全正規職員が研修として参加している。また、個々に外部の研修を受けたりし、参加後には園内研修も行いながら、園内の検討委員会の中でも取り組みを推進し、園全体のものとしていけるよう取り組んできている。
・保育環境の見直しを行い、これまで保育室内に掲示していたおたより類を最低限の数にし、子どもの絵や製作物を廊下に掲示する等室内では落ち着いて過ごせる環境となるようにしている。
・食育活動を深められるよう食育ボードを設置し、毎月食育情報を更新したり、畑での野菜の栽培やそれらを用いたクッキング保育等、「楽しく食べる」ことを大切に考えている。

【第三者評価の受審状況】

・受審回数(前回の受審時期)

1 回 (平成 20 年度)